



加賀市長からのメッセージ 第025号 4月8日配信

本日、加賀市内初の義務教育学校として開校した「橋立海青学園」の開校式、入学式に出席してまいりました。

義務教育学校は小学校と中学校の9年間の一貫教育を行う学校制度で、前期課程の1年生から6年生までで小学校の学習内容を、後期課程の7年生から9年生までで中学校の学習内容を学びます。入学式では1年生の元気な挨拶の声、中学校1年生にあたる7年生の新しい制服姿、誇らしげな笑顔が印象に残りました。

本校は橋立小・中学校を前身としていますが、歴史は古く明治6年に北浜（ほくひん）小学校として創設したことに始まります。橋立の豊かな歴史と伝統を受け継ぎ、これまで多くの素晴らしい卒業生を輩出してきたこの地に、新たな学びの場が誕生したことになります。

この開校に向け、長年にわたり尽力していただいた関係者の皆様、ご協力くださった地域の皆様、そして大切なお子様を温かく見守ってくださった保護者の皆様のご尽力に心からお礼申し上げます。皆様とともにこの歴史的な瞬間を迎えられたことを喜ばしく誇りに思うとともに、本日は市内各校でも入学式が執り行われ、新たな一歩を踏み出すたくさんのお子たちの笑顔が溢れていたことと想像します。

すべての新入生、保護者の方、そして支えてくださる地域の皆様に、心から「おめでとう」をお伝えしたいと思います。

市内では桜の花が満開となり、今日のお子たちの門出を祝うように咲き誇っていました。子どもは宝、加賀市の未来。ここから未来に羽ばたく子どもたちが大きな夢を描き、一人ひとりが自分らしく力強く成長していくことを願っています。

(令和7年4月8日号)

加賀市長 宮元 陸